

AIRTECH

BS-Cap- I 塩ビフード型 陰圧ストレッチャー 取扱説明書



このたびは、陰圧式クリーンストレッチャーをお求め頂き誠にありがとうございます。

- ・この取扱説明書をよく読まれまして、正しくご使用下さい。
- ・製品の知識、安全の情報、そして注意事項の全てに習熟してからご使用下さい。
不適切な取扱いは、重大な事故につながりかねません。
- ・本説明書は、装置のそばに置き、常時活用して下さい。
- ・本装置の運転管理者を必ず定めて頂き、事故・異常等が発生した場合は、直ちに
管理者へ報告して下さい。
- ・本説明書は、標準装置用にかかれております。特殊装置については本書を添付書
と合わせてお読み下さい。

もくじ

- はじめに
- 製品受け入れ時のご注意
- 安全上のご注意
(ご使用前に必ずお読み下さい。)
- 用語の定義・型式の説明
- 特長および仕様
- 操作および取扱方法
- 異常とその対処
- 保 守
- 連絡先

1. はじめに

本装置は、感染病患者もしくは、それに疑わしい患者を隔離搬送する為の装置です。患者の呼吸や飛沫より医療従事者及び救急隊員が感染することを防ぎ、また外界への感染の伝播を防止することを目的としております。つまり飛沫を含めた空気感染を防止する装置であり、接触感染等の可能性を含め、完全な感染防止装置ではありません。

ご使用の際は、必ず専用の着衣、手袋、マスク、ゴーグル等の安全器具を着用の上、正しい取扱いをお願いします。

安定した性能で安全にご使用頂くために、この取扱説明書をよくお読みになり十分に理解された上、ご使用下さい。また、不明点等ございましたらお問い合わせいただきますよう、お願い致します。

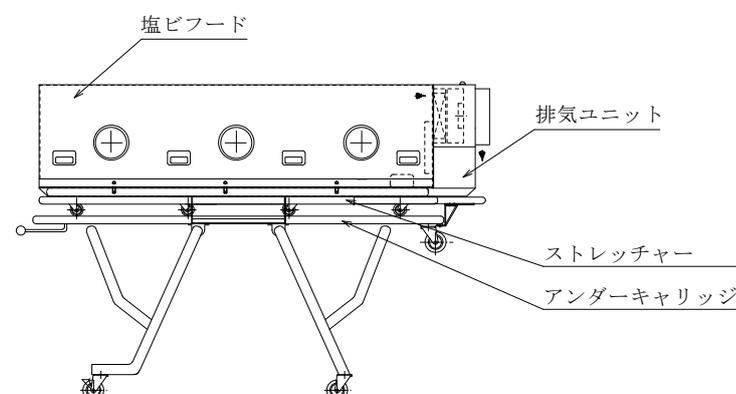
2. 製品の受け入れ時のご注意

- ① 輸送中に破損した箇所がないか、確認して下さい。
- ② ご注文通りの製品か、下記部品を確認して下さい。
- ③ 製品の製造・梱包・出荷には細心の注意を払っておりますが、万一不都合な点がございましたら、受領後3日以内にご連絡下さいますようお願いいたします。なお、ご使用になられた場合および改造等された場合は、補償対象外となりますので、ご了承下さい。

・ 構成部品

運搬上の安全及び搬入形態の御指定等により、搬入の際の分割方法が異なります。以下の部材について御確認下さい。

名 称	数量
アンダーキャリッジ	1
ストレッチャー、排気ユニット	各 1
塩ビフード	1
塩ビフードカバー	1
充電ボックス	1
AC100V 用ケーブル	1
通電コネクターケーブル	1
DC12V 用ケーブル	1
取扱説明書	1
その他、御指定品	





充電ボックス



AC100V 用ケーブル



通電コネクターケーブル(5P)



DC12V 用ケーブル(2P)

3. 安全上のご注意

- ・ご使用になる前に、この『安全上のご注意』をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
- ・ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。
- ・表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから本文をお読み下さい。

表 示	意 味
 危 険	守らないと生命や身体に重大な被害が発生する可能性が <u>高い</u> 危険に使用
 ご注意	守らないと軽傷程度の被害または、物損事故が発生する恐れがある場合に使用
 禁 止	禁止（してはならないこと）を示す。
 実 行	強制（必ずすること）を示す。

①基本的注意事項

危 険

カーテンレールにぶら下がらない。

- ・危険ですので、ビニールフード吊用のパイプにはぶら下がらないで下さい。

ご注意

改造は絶対にしないで下さい。

- ・感電事故、火災、その他の事故、性能低下の原因となる恐れがあります。

感電注意

- ・濡れた手で電源プラグの差込みや引抜きを行わないで下さい。

感電の恐れがあります。ご注意ください。

1分間以内の ON/OFF をしない。

- ・電源を1分間以内に電源の ON/OFF の繰り返しをすると、モーター過熱の原因となり、火災の恐れがあります。ご注意ください。

 電装品には触れない。

- ・装置内部の電装部品には、触れないで下さい。やむを得ない場合は電源コードを抜くか、一次側のブレーカーを切ってから行って下さい。

 塵埃、湿気注意

- ・本製品は**塵埃、湿気の少ないところで使用して下さい**。屋内仕様のため屋外では使用しないで下さい。

 清掃時ベンジン、シンナー等使用禁止

- ・本体をベンジンやシンナー等で拭かないで下さい。塗装がはげたり変色したりします。

②据付上の注意事項

 危険

 装置を据え付けてから電源プラグの接続を行う。

- ・感電やケガの恐れがあります。

 電源コードはアース付コンセントに接続する。

- ・アースは必ず接続して下さい。

 ご注意

 排気部を塞がない。

- ・排気部を塞ぐとテント内の陰圧が保たれなくなる恐れがあります。

 次のような場所で使用しない。故障の原因となります。

- ・低温や高温になるところ。(10～40℃の範囲可)
- ・湿気が多く、結露するところ。

 電圧の仕様確認

- ・装置の定格電圧と入力電源の仕様が合っていることを確認して下さい。電気部品の焼損・発火の恐れがあります。

③使用上の注意事項

 危険

 点検時は電源を切る。

- ・不意に装置が運転を始め、ケガをしたり感電する恐れがあります。

! ストレッチャーの高さ調整時、レバーを引く際、取手をしっかり支えて下さい。

- ・レバーを引くと、**ストレッチャー上部の荷重(約 60 kg)が取手部にかかります**。取手を支える腕等に急激な負担がかかり、ケガをする恐れがあります。取手を軽く持ち上げた状態で、しっかり支えながらレバーを引いて下さい。

! **ご注意**

⊘ フィルターの濾材には触れない。

- ・メインフィルターの濾材には絶対に触れないで下さい。
破損して粒子や菌が漏れる恐れがあります。

⊘ 電源コードを傷つけない。

- ・コードが破損すると火災や感電の原因となります。
コードの上に重いものを置いたり、挟み込んだりしないで下さい。

! コンセントは指定容量以下で使用。

- ・容量を越えて使用すると、配線が加熱し発火の恐れがあります。
- ・火災の恐れがあります。

! 本機に装備している排気ユニットは定期的に清掃・交換を行う。

- ・後述してあります作業要領にしたがって、清掃・交換して下さい。

④ **修理等の注意事項**

! **危険**

⊘ 分解・修理禁止

- ・異常動作によるケガ、火災、感電等の恐れがあります。弊社サービスマン以外の方は、絶対に分解したり修理を行わないで下さい。

! **ご注意**

⊘ 異常のまま使用しない。

- ・異常のまま運転を続けると、火災や感電の原因となります。
- ・異常時は運転を停止し、元電源を切り、代理店または弊社へご連絡下さい。

4. 用語の定義・型式の説明

用語の定義

本装置の仕様・部品等に関する用語は、下記のように定義されております。その他の用語は、コンタミネーションコントロール用語（JIS Z 8122）によります。

用語	定義
HEPA フィルター	定格風量で粒径 $0.3\mu\text{m}$ の粒子に対し、99.97%以上の粒子捕集効率をもち、かつ圧力損失が 250Pa 以下の性能をもつエアークリナー。
ULPA フィルター	定格風量で粒径 $0.1\mu\text{m}$ の粒子に対し、99.9995%以上の粒子捕集効率をもち、かつ圧力損失が 250Pa 以下の性能をもつエアークリナー。
プレフィルタ	空気を吸い込む最も上流側に取り付けられるエアークリナー。比較的大きな粒子を除去するために用いられる。
ファン(送風機)	電動モーターにより回転する羽根と、羽根によって圧縮される空気の流れを形成するケーシングから成る。送風のための装置。
排気ユニット	ファンとフィルタが一体となったユニット。
層流(一方向流)	限られた区域内で、平行な流線に沿って一方向に一様な速度で動く空気の流れ。
乱流(非一方向流)	限られた区域内で、方向が定まっていなかった乱れた空気の流れ。
清浄度(レベル)	特定のある場所、又はある容積中に存在する汚染物の量、もしくは粒子の大きさ別の数によって格付けする清浄度の程度。
清浄度クラス	清浄度レベルの等級分けをしたもの。1m ³ あたりの粒子別の粒子数によって決まる。本書では ISO 14644-1 規格によって表示する。
発塵	材料が衝撃・摩擦などを受けた時、微粒子などの汚染物が発生すること。又は発生した汚染物。
バイオハザード	病原微生物、DNA 組換え微生物などによる人への危険・障害を言う。これらの微生物を取り扱う人に対するものと、一般公衆に対するものがある。
滅菌	化学薬品、熱、放射線、ろ過などによって菌を殺すか、除去すること。
無菌空間	生物粒子を死滅させたり、取り除いた空間。
操作パネル	装置の運転・停止および運転状況表示、異常の警報等を一括して操作・表示するための制御機器の取付板。

5. 特長および仕様

本装置は以下の特長を有します。お取り扱いの参考として下さい。

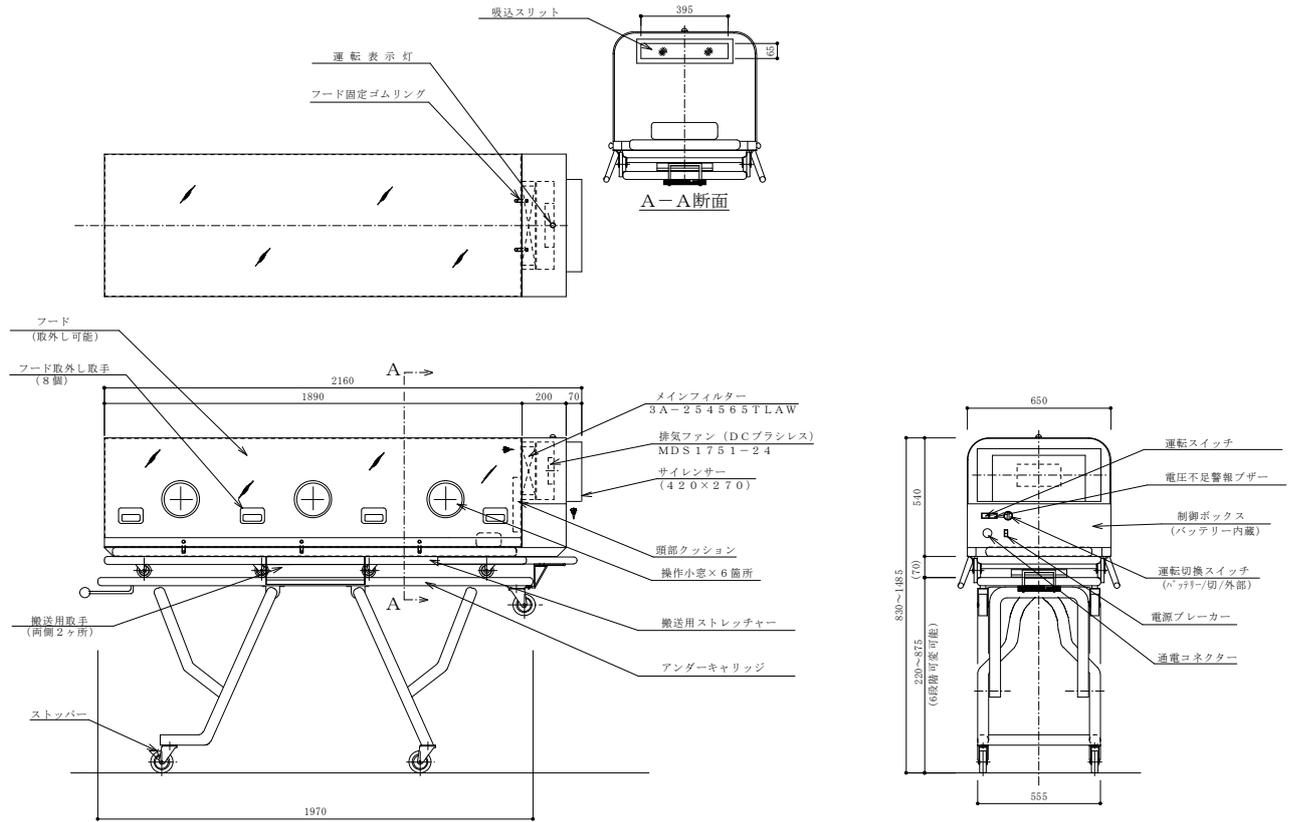
◆ 特 長

1. 高性能フィルタを介し清浄化した排気を行うことでフード内を陰圧に保ち、空気感染を防止する構造となっております。
2. 軽量設計となっております。
3. AC100V, 1φ, 50/60Hz による運転の他、専用ソケットの使用により DC12V (車内シガーソケット) からの電源供給が可能です。
4. 付近に電源が無い場合でも、約 1.5 時間の充電運転 (フル充電時) が可能です。
5. サーキットプロテクターを使用し、安全に配慮しております。

◆ 仕 様

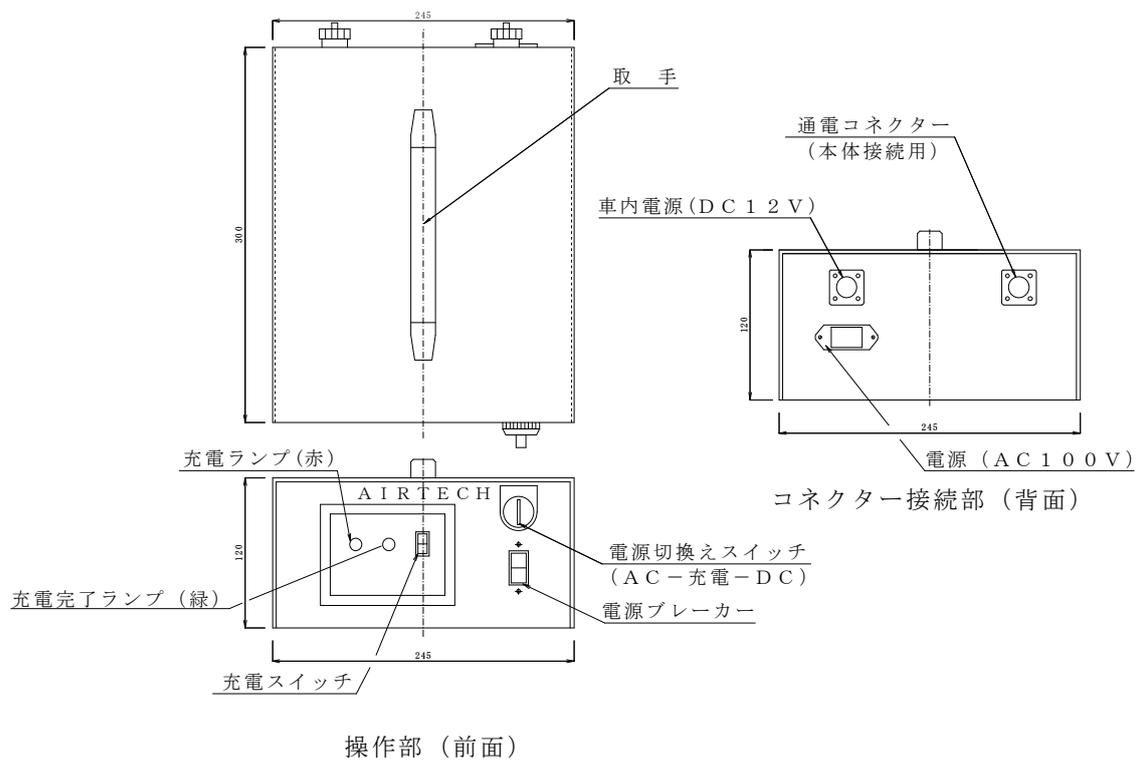
品 名	陰圧式クリーンストレッチャー
型 式	B S - C a p - I (塩ビフード型)
集塵効率	0.3μm 粒子にて 99.99%以上
集塵要素	排気フィルター～HEPA フィルター
処理風量	排 気～約 2m ³ /min
構 造	排気ユニット～アルミニウム製 フード部～無色透明塩ビ
運 転	バッテリー運転/外部運転切替式 (外部運転 AC100V/DC12V 入力)
電 源	外部運転時～AC100V, 1φ, 50/60Hz 又は DC12V (専用ソケット) <充電時～AC100V, 1φ, 50/60Hz>
バッテリー運転時間	フル充電にて 1.5 時間運転可能
重 量	約 92kg (陰圧ストレッチャー約 57kg /アンダーキャリッジ約 35kg)
最大荷重	約 85kg 以下
そ の 他	運転及び充電には、別途電源ボックスが必要です

◆ 寸法図



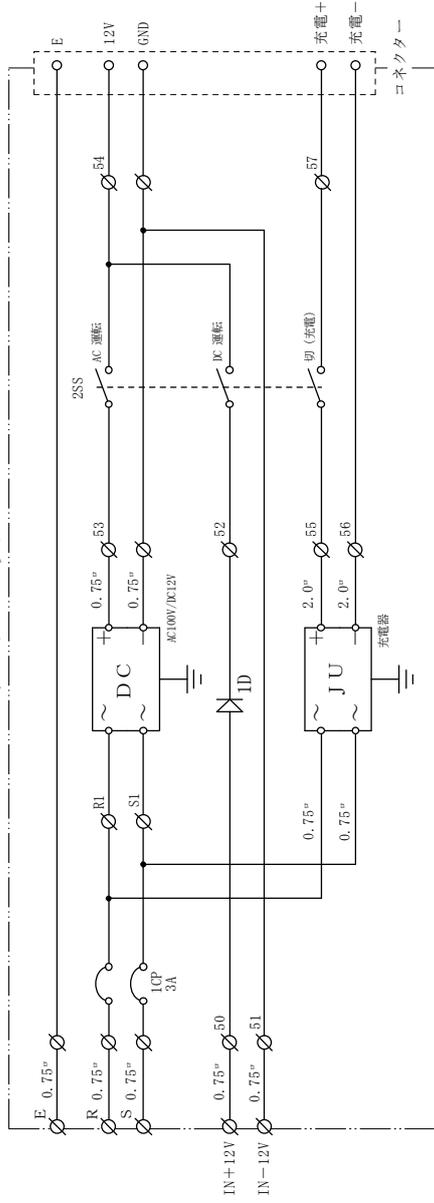
※ アンダーキャリッジ ファーノ製 Model 4080 使用時

◆ 電源ボックス(各部の名称)

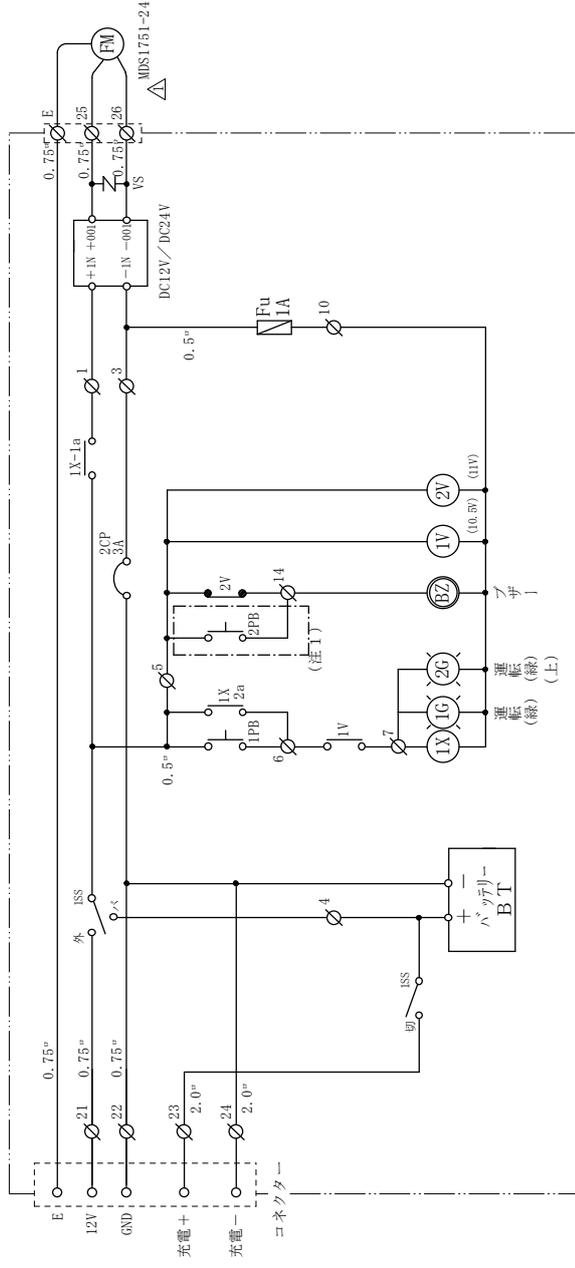


◆ 配線図

アダプターボックス



ストレッチャー制御内



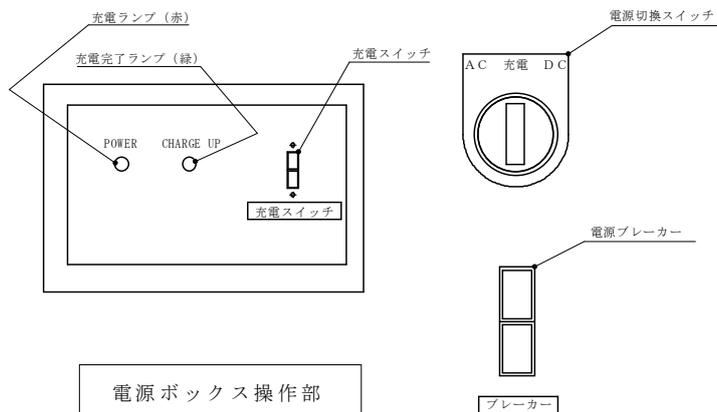
AC100V, 1φ, 50/60Hz

記号	名称	型式	メーカー
F M	ファン	MDS1751-24	オリエンタル
V S	バリスタ	ERZV100390	
D D	DC-DCコンバーター	VTA24SC12	イナダ電機
I C P	サーキットプロテクター	NRLY1100F-3AAD	和泉電機
1, 2 S S	セレクトスイッチ	ASS33SN-243	和泉電機
I X	リレー	MY2-D DC12V	オムロン
1, 2 V	ポルティジ・センサ	LG2-DB DC12V	〃
1 P B, 1 G	照光式押しスイッチ	A16L-JGM-12D-2	〃
2 P B	押しスイッチ	HAW-N	アイホン
2 G	表示灯	DR22D0L-B3G	富士電機
B z	フザー	M2BJ-B24	オムロン
2 C P	サーキットプロテクター	NRLY2100F-3AAA	和泉電機
D C	DC電源ユニット	S82J-0512	オムロン
J U	充電器	PS12-05T	ユアサ
1 D	ダイオード	S3V60	新電光工学
B T	バッテリー	NP4-12	ユアサ

6. 操作及び取扱方法

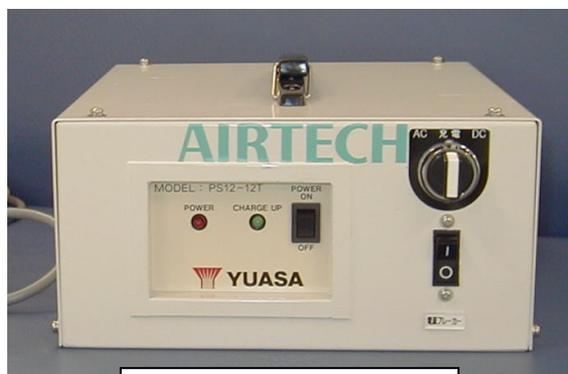
6-1 充電方法

- 1) ストレッチャー本体と電源ボックスの通電コネクター間を専用ケーブルにて接続して下さい。
- 2) 電源ボックスへ AC100V を接続して下さい。
- 3) ストレッチャー本体と電源ボックスのブレーカーを ON (I 側) にして下さい。(※必ず本体と電源ボックスのブレーカー両方を ON にして下さい。)
- 4) ストレッチャー本体の運転切換えスイッチを中央の切 (充電) に切換え、電源ボックスの電源切換えスイッチを中央の充電に切換えて下さい。
- 5) 電源ボックスの充電スイッチを ON して下さい。この時、充電ランプが点灯していることを確認して下さい。
- 6) バッテリーの放電量により若干異なりますが、最大約 3 時間後に充電完了ランプが点灯します。これにより充電は完了です。充電スイッチを OFF し、ストレッチャーのバッテリー運転が可能となります。



ご注意

- ※ 充電時の電源は AC100V のみとなります。(車内 DC 電源では充電できません。)
- ※ ストレッチャーを長時間ご使用されない場合に、バッテリーは自然放電し電圧が低下します。1ヶ月に1日程度充電して下さい。(詳細は 6-5 保管時の注意事項をご参照下さい。)



電源ボックス



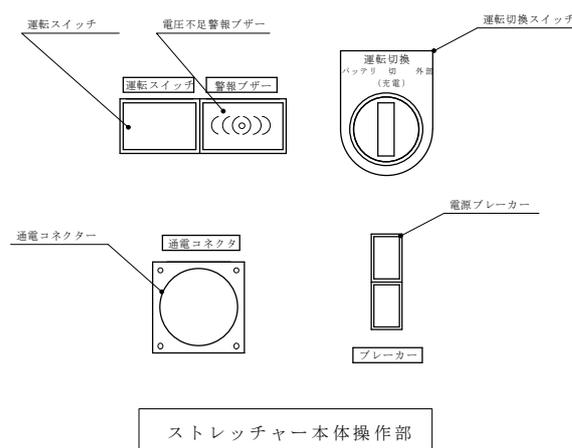
本体操作部

(スイッチ類のレイアウトは仕様により若干異なります。)

6-2 運転方法

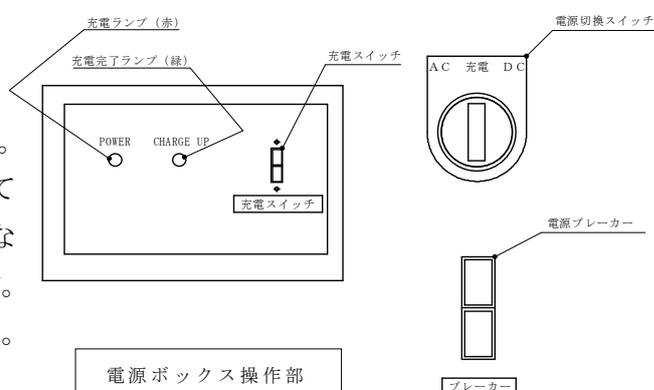
<バッテリー運転の場合>

- 1) ブレーカーを ON (I 側) にして下さい。
- 2) 運転切換えスイッチを“バッテリー”へ切換えて下さい。
- 3) 運転スイッチを押して下さい。運転表示灯が点灯し、運転を開始します。
- 4) 停止する場合は、運転切換えスイッチを“切”へ切換えて下さい。運転表示灯が消灯し、運転が止まります。



ご注意

- ※ バッテリー運転前は必ず充電して下さい。
- ※ バッテリー連続運転時間は満充電時にて約 1.5 時間です。バッテリーの電圧が少なくなりますと、警報ブザーが鳴動します。充電するか、外部運転に切換えて下さい。



<AC100V もしくは車内 DC12V の外部運転の場合>

AC 運転の場合

通電コネクタケーブルと AC100V 用ケーブルを御用意下さい。

- 1) ストレッチャー本体と電源ボックスの通電コネクタ間を通電コネクタケーブルにて接続して下さい。
- 2) AC100V コンセントより電源ボックスへ AC100V 電源を供給して下さい。(AC100V 用ケーブル使用)
- 3) ストレッチャー本体と電源ボックスのブレーカーを ON (I 側) にして下さい。(※必ず本体と電源ボックスのブレーカー両方を ON にして下さい。)
- 4) ストレッチャー本体操作部の運転切換えスイッチを“外部”に切換えて下さい。また、電源ボックスの電源切換えスイッチを“AC”へ切換えて下さい。
- 5) ストレッチャー本体操作部の運転スイッチを押して下さい。運転表示灯が点灯し、運転を開始します。
- 6) 停止する場合は、ストレッチャー本体操作部の運転切換えスイッチを“切”へ切換えて下さい。運転表示灯が消灯し、運転が止まります。

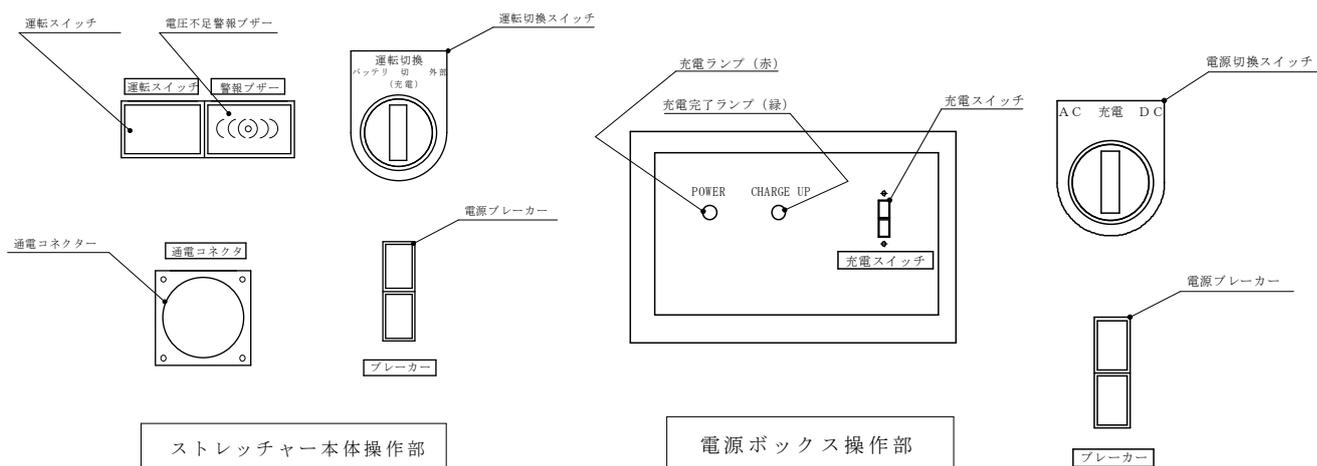
DC 運転の場合

通電コネクターケーブルと DC12V 用ケーブルを御用意下さい。

- 1) ストレッチャー本体と電源ボックスの通電コネクター間を通電コネクターケーブルにて接続して下さい。
- 2) 車内の DC12V 端子より電源ボックスへ DC12V 電源を供給して下さい。(DC12V 用ケーブル使用)
- 3) ストレッチャー本体と電源ボックスのブレーカーを ON (I 側) にして下さい。(※必ず本体と電源ボックスのブレーカー両方を ON にして下さい。)
- 4) ストレッチャー本体操作部の運転切換えスイッチを“外部”に切換えて下さい。また、電源ボックスの電源切換えスイッチを“DC”へ切換えて下さい。
- 5) ストレッチャー本体操作部の運転スイッチを押して下さい。運転表示灯が点灯し、運転を開始します。
- 6) 停止する場合は、ストレッチャー本体操作部の運転切換えスイッチを“切”へ切換えて下さい。運転表示灯が消灯し、運転が止まります。

ご注意

※ 救急車での患者搬送時、受け入れ先の病院までに時間がかかる場合は、車内の DC12V 電源にて運転が可能です。この時、電源ボックスが必要となりますので、出動時はストレッチャー本体と共に必ず電源ボックスをお持ち下さい。



6-3 患者の受け入れ及び搬送準備

1) 患者の受け入れ

- ① 患者の受け入れ場所までストレッチャーを移動して下さい。(写真1)

※ 本体が重い為、出動は4名以上をお勧めします。



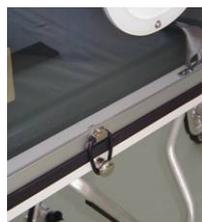
写真1

- ❗ レバーを引くと、ストレッチャー上部の荷重(約60kg)が取手部にかかります。取手を支える腕等に急激な負担がかかり、ケガをする恐れがあります。取手を軽く持ち上げた状態で、しっかり支えながらレバーを引いて下さい。(写真2)



写真2

- ② カバーの固定用ゴムリングを取り外し、カバーを取り外して下さい。(写真3)



固定用ゴムリング



写真3

2) 患者の搬送準備

- ① ストレッチャーの高さを調整し、患者を載せて下さい。
- ② カバーを取り付けて固定用ゴムリングにて固定し、排気ユニットをバッテリー運転して下さい。(写真 4)



写真 4

ご注意

- ※ 排気ユニットは、患者を受け入れ先の病院へ搬送完了まで停止しないで下さい。
- ※ また患者の搬送完了後、ストレッチャー装置の除染を済ませてから、排気ユニットを停止させて下さい。

6-4 保管時の注意事項

1) 患者搬送後のメンテナンス

患者搬送後、ストレッチャー本体のテント内に病原体が付着している可能性が有ります。
テント内を適切な方法にて除染した後に保管して下さい。

(危険な病原体でない場合は、テント内にアルコールを噴霧し、拭き取り後保管して下さい。)
(大量汚染時はビニールフードを廃棄し、排気ユニットをホルマリン滅菌等されることをお勧めします。)

※ 特定の菌等に対する適切な除染方法は、ウイルス学などの専門家に問い合わせ下さい。

2) 保管時の定期的なメンテナンス

本装置は、外部運転時以外はバッテリーにて運転します。バッテリーは長時間保管しますと、自然放電により電圧が徐々に低下します。1ヶ月に1回程度、定期的な充電を行って下さい。その時、数分間の運転確認を行って下さい。

3) 保管場所

- ・ 装置の保管は、 -5°C ～ 40°C の環境にて、出来るだけ乾燥した場所に保管して下さい。
- ・ 必ず屋内に保管し、直射日光の当たらない場所として下さい。
- ・ なるべくホコリが蓄積しない様に清潔な場所として下さい。



保管用専用カバー (オプション)

7. 異常とその対処

異常時は以下の表を参照し、点検して下さい。

故障原因が不明な時、その他使用上ご不明がございましたら、弊社へお問い合わせ願います。

 異常のまま使用しない。

 ご注意～点検は電源を切ってから行って下さい。

現象	原因	処置
ファンが始動しない	・電源ボックス又は本体の電源ブレーカーがOFFになっている	・電源ブレーカーをONにして下さい (外部運転の場合は、両方ONにして下さい)
	・断線又は端子のゆるみ	・配線のチェックを行って下さい
	バッテリー 運転時 ・バッテリーが充電されていない ・運転切換スイッチが「バッテリー」になっていない	・バッテリーを充電して下さい ・運転切換スイッチを「バッテリー」とし、運転スイッチを押して下さい
	外部 運転時 ・通電コネクタが接続されていない ・電源ボックスへ供給されている電源種別と電源ボックスセレクトスイッチの「AC」/「DC」選択が異なっている	・通電コネクタを接続して下さい ・外部から供給されている電源種別に合わせ、電源ボックスセレクトスイッチの「AC」/「DC」を切替えて下さい [AC100V,1φ→AC DC12V(車内シガーソケット)→DC]
始動するが、風速が遅い	・ファンの故障	・弊社へ御連絡下さい
	・メインフィルターの目詰まり	・メインフィルターを交換して下さい
こげくさい臭いがする	・電気部品のショート	・電源を切り、弊社へ御連絡下さい
	・過負荷による電線の発火	
ファンが作動しない	・モーター焼損	・モーターを交換して下さい
充電が行えない	・電源ボックスへ電源が供給されていない	・電源ボックスへAC100V,1φの電源を接続して下さい
	・電源ボックスのセレクトスイッチが「AC」または「DC」になっている	・電源ボックスのセレクトスイッチを「充電」の位置に合わせて下さい
	・本体のセレクトスイッチが「切(充電)」になっていない	・本体のセレクトスイッチを「切(充電)」の位置に合わせて下さい
	・電源ボックス又は本体の電源ブレーカーがOFFになっている	・電源ボックス、本体共に電源ブレーカーをONにして下さい
	・通電コネクタが接続されていない	・通電コネクタを接続して下さい
	・電源ボックスの充電スイッチがOFFになっている	・電源ボックスの充電スイッチをONにして下さい
バッテリー運転時すぐに警報ブザーが鳴る	・バッテリーの寿命	・バッテリーを交換して下さい

8. 保 守

8-1 保 守

本装置の性能を維持するために、次のような保守・点検を行って下さい。

メンテナンスは必ず適切な方法で除染後に行ってください。（詳細は 8-2. 消毒・滅菌方法をご参照下さい。）

※ 危険な病原体でない場合は、テント内にアルコールを噴霧し、拭き取り後メンテナンスして下さい。

※ 特定の菌等に対する適切な除染方法は、ウイルス学などの専門家に問い合わせ下さい。

 **ご注意～点検は電源を切ってから行って下さい。**

1) 排気ユニット

メインフィルターは、運転による目詰まりで圧力損失が大きくなり、風量が徐々に減少します。

スモーク気流により陰圧が保持出来ていないと判断した場合は、フィルターが目詰まり等が考えられるのでフィルターの交換が必要です。（再生使用はできません。）風速と気流のチェックは少なくとも年 1 回実施して下さい。

ファン型式 : MDS1751-24

フィルター型式 : 3A-254565TLAW

ファン、フィルターの交換は次頁の手順に従って下さい。

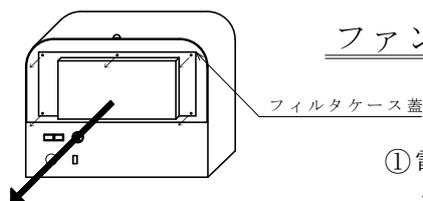
 **危 険～フィルターを取り外す時は、ファンを停止させて下さい。**

ファンに異物を吸い込んだり、指等をけがする恐れがあります。

 **危 険～汚染の防止**

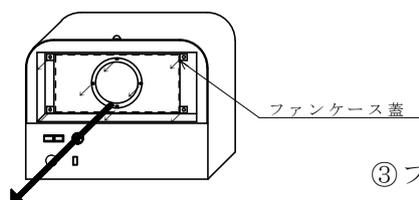
フィルターを交換する場合は、必ず専用のグローブ、マスク、ゴーグル及び衣服にて行って下さい。ファン・フィルター交換の際は、事前に適切な除染を行って下さい。（詳細は 8-2. 消毒・滅菌方法をご参照下さい。）

ファン・フィルターの交換手順

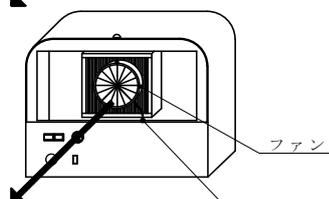


①電源ケーブルを抜き、
ファンを停止させて下さい。

②フィルタケースの蓋を
開けて下さい。

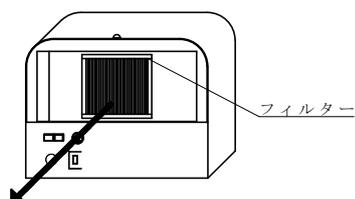


③ファンケースを外し、
ファンを取出す
(ファンケース内に手が入る程度
手前に取出した時点で、
ファンの電源コネクタを外す)



ファン電源コネクタ
(コネクタ接続場所は、仕様により異なります)

④フィルタを外し、
新しいフィルタと交換する



⑤フィルタ交換後、
逆の手順で復旧する

⚠ フィルター素材は大変破れ易い為
フレームを持ち、素材には
触れないよう注意して下さい。

<※フィルターの固には、M8スパナを御用意下さい>

※ファンの交換については、手順②にて新しいファンと交換した後、
復旧して下さい。

※使用済のフィルタは適切な方法で除汚した後、廃棄して下さい。
適切な除染方法については、ウイルス学の専門家へ問合せ下さい。

2) お手入れ

外部のお手入れ

- ・柔らかい布（ワイパー）で、から拭きして下さい。
- ・汚れがひどい場合は、ぬるま湯か中性洗剤をご使用下さい。
- ・中性洗剤を使用した後は、必ずきれいな水を含ませた布で拭き取り、から拭きをして下さい。

⊘ 清掃時ベンジン、シンナー等使用禁止

塗装面や樹脂部を劣化させる原因となります。

3) その他

特に保守は必要ありませんが、装置全体として1年に1度定期点検をお勧めします。
その際、当社サービスマンが異音等の点検を致します。（点検は有料です。）

運転復帰

本装置には安全を考慮し、排気ユニット、電源ボックスに電源ブレーカーを装備しています。
回路の異常を発見した場合、安全に処理した後、運転復帰を行って下さい。

- ・全回路の復帰時には、電源ブレーカーを入れて下さい。

8-2 消毒・滅菌方法

◎ アルコールによる消毒

対象事例 ～ 日常の消毒

対象病原体 ～ SARS 等

※ アルコールでは十分な効果を得られない場合があります。特定の病原体に対する消毒、滅菌や大量汚染時は、HCHO ガス滅菌等を行うか、ウイルス学の専門家へ問合せの上、適切な除染を行って下さい。

- ① 専用のグローブ及びマスク、ゴーグル、衣服を着用して下さい。
- ② 消毒を行いたい箇所へ十分な量のアルコールを噴霧します。
- ③ 専用のワイパー等で、アルコールを拭き取って下さい。
- ④ アルコールを拭き取ったワイパーについては、ビニール等で密封し廃棄して下さい。専用のグローブ、マスク、ゴーグル等、消毒に用いた衣服は適切な方法にて処理して下さい。

◎ HCHO（ホルムアルデヒド）による消毒・滅菌

対象事例 ～ アルコールでは効果の得られない病原体による汚染、大量汚染等に対する消毒及び滅菌

対象病原体 ～ SARS、結核等

※ 特定の病原体に対する適切な消毒・滅菌方法については、ウイルス学の専門家へ問合せ下さい。

① 専用のグローブ及びマスク、ゴーグル、衣服を着用して下さい。必要に応じて排気ユニットを運転出来る様、バッテリーを充電もしくは外部電源を接続して下さい。

② 装置を個室等へ隔離します。

③ 装置全体を HCHO ガス滅菌装置が接続可能なビニールフードで密封します。

※ 滅菌効果の検証が必要な場合、密封前に適切な場所への BI¹⁾等の設置をおすすめします。

1) : バイロジカルインジケーター。ガス滅菌の指標として用いる寒天培地等。

④ HCHO 濃度をモニターしながら、濃度に応じ約 6 時間の滅菌を行います。

※ 滅菌中数回に渡り、約 1 分間ずつ排気ユニットを運転し、装置全体の滅菌を行います。

⑤ 滅菌後、HCHO ガスの残留が無い様、炭酸アンモニウムにて中和を行います。

⑥ 中和されたフード内のガスを屋外へ排気します。

⑦ 装置の密封を解き、使用したビニールフードは廃棄します。

日本エアーテック株式会社

本社 HEAD OFFICE	〒110-8686 東京都台東区入谷1丁目14番9号 TEL 03-3872-6611 FAX 03-3872-6615 14-9.1CHOME, IRIYA, TAITO-KU, TOKYO 110-8686
東北営業所	〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井7丁目12番の5 TEL 022-352-4504 FAX 022-352-4507
中部営業所	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1丁目18番11号(CK21広小路伏見ビル) TEL 052-219-7100 FAX 052-219-7200
北陸営業所	〒930-0005 富山県富山市新桜町4番28号(朝日生命富山ビル) TEL 076-471-7752 FAX 076-471-7753
関西営業所	〒531-0071 大阪府大阪市北区中津1丁目11番11号(第1リッチビル) TEL 06-6373-0473 FAX 06-6373-0827
中国営業所	〒732-0825 広島県広島市南区金屋町2番14号(アフロディテビル) TEL 082-568-7522 FAX 082-263-1505
九州営業所	〒810-0062 福岡県福岡市中央区荒戸3丁目6番29号(クリエイト西公園ビル) TEL 092-401-1595 FAX 092-401-1594
南九州出張所	〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央3丁目38番28号(ショーヤ105号) TEL 0995-47-7422 FAX 0995-47-7433
草加工場	〒340-0002 埼玉県草加市青柳2丁目10番20号 TEL 048-936-3033 FAX 048-936-3307
サービスセンター	〒340-0002 埼玉県草加市青柳2丁目10番21号 TEL 048-936-3246 FAX 048-936-3199
東北サービスセンター	〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井7丁目12番の5 TEL 022-352-4504 FAX 022-352-4507
関西サービスセンター	〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1丁目10-17(オフィスプラザ江坂E号) TEL 06-6151-2660 FAX 06-6151-2661
九州サービスセンター	〒810-0062 福岡県福岡市中央区荒戸3丁目6番29号(クリエイト西公園ビル) TEL 092-401-1595 FAX 092-401-1594
加須工場	〒347-0032 埼玉県加須市花崎5丁目12番地 TEL 0480-67-0200 FAX 0480-67-0233
伊勢崎工場	〒379-2214 群馬県伊勢崎市下触町250番1号 TEL 0270-63-3700 FAX 0270-63-3701
越谷工場	〒343-0011 埼玉県越谷市増林3610番14 TEL 048-967-5561
赤城スマートファクトリー	〒376-0124 群馬県桐生市新里町小林691番地1 TEL 0277-32-4233 FAX 0277-32-4234
クリーンサプライ 草加工場	〒340-0002 埼玉県草加市青柳2丁目18番12号 TEL 048-931-9445 FAX 048-931-9605

製品受け入れ時のお願い

このたびは弊社製品をご採用頂き、有り難くお礼申し上げます。

製品の運送には十分な注意を払っておりますが、万一の製品損傷につきましては**受領後3日以内**にご連絡くださいますようお願い申し上げます。

尚、ご使用になられた場合及び改造等された場合は、補償対象外となりますのでご了承ください。

日本エアーテック
株式会社
草加工場
TEL 048-936-3033